



【接客も板についてきたリンコンくん(左)】



【こんなに立派な青年に成長しました】



【こんなあどけない男の子でした(入所当初)】

ジャンプ&スマイルから初の就職者

いつもエイズ孤児院の子ども達へのご支援ありがとうございます。今日は皆さまにうれしい報告があります。

2013年にエイズで親を亡くした子ども達を預かる孤児院としてオープンした ACEF ジャンプ&スマイルセンターは今年で9年目となりました。ジャンプ&スマイルで育った男の子の年長のリンコンくん(写真左)が社会人第1号となり、先日無事に就職しました。

リンコンくんとは、彼の祖父母を通して出会いました。当時は彼の母親も元気でしたが、後に両親ともエイズで亡くなり、このまま放っておいてはストリートキッズに転落するのが目に見えていたので、孤児院へ来るように誘いました。

カニヨンガ小学校(8年制)を卒業した後、一旦地元の高校へ入学しましたが、高校で勉強するより手に職を付け働きたいとの本人の希望もあり、当会の職業訓練校へ転校させ、ホテルサービスで調理と接客の勉強をし、今年9月に無事に卒業。現在は塩尻が懇意にしていた実業家が経営するエンブ市内のレストランに就職。同時にエンブ事務所近くで一人暮らしも始めました。

先日彼の様子見がてらスタッフと一緒に彼の働くレストランを訪ねましたら、とても元気にしていました。あとに続く下の子の手本になれるよう頑張ると伝えましたが、働きながら自分で家賃を払い、自立した生活をしながら、一歩ずつでも自分の道を進む姿にほっとしました。

彼に続く下の子たちで今年8年生9人は、(コロナの影響で学期が遅れているため)来年3月に高校受験となりますが、女の子たちの成績がダントツ良く、ジャンプ&スマイルの子ども達がクラスでナンバー1の成績を取ることは間違いなく、進学先の高校を決定する統一テストでも希望の学校へ進めると思います。親が居ないのはとても寂しいことではありますが、みんな上を向いて歩いて行けるのは皆さまのご支援のお陰です。本当にありがとうございます。

